

「キッズ荒神っ子クラブ」を開催しました。

11月17日（日曜日）と24日（日曜日）の2日にわたり、自主事業「キッズ荒神っ子クラブ」を荒神山自然の家にて開催しました。

幅広い利用をはかるために、対象を小学校1年生から3年生までとし、豊かな緑の中で自然に親しみ、みんなで仲良く活動しようをねらいとして、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むとともに、活動を通じて子どもたちの交流を図ることを目的としました。

また、多くの子どもたちに参加してもらえるように、おなじ企画で2回（2日）にわけて実施しました。今回は「チャレンジしよう！」を大きなテーマ、趣旨とし、班での活動を中心に企画しました。

活動の主な流れは、はじめのつどい、班ごとにまとまり参加者やボランティアスタッフとの自己紹介タイム、全体レク、野外炊事、わんぱくランキング、どんぐりキーホルダーづくり、焼き芋のおやつを食べて、終わりのつどいをして解散となりました。

自己紹介では、班つきのボランティアスタッフのユニークな自己紹介やスタンプなどでなごんだ後一人ひとりが自己紹介をし、仲良くなる第一歩の仲間づくりタイムを共有しました。その後、所員の楽しいレクでさらにまとまりを生むことができました。

野外炊事では、調理の仕方や備品使用上の注意事項を聞いた後、すでに所員がおこした火でウィンナーロールパイを作りました。ウィンナーにパイ生地を巻き付け火にかけます。焼き上がった後は、ケチャップやマスタードをお好みでかけ、用意されたコーンポタージュスープとともに頬張りました。熱々でおおぼしく焼き上がったウィンナーに思わずにっこり。

午後の活動は、わんぱくランキング。ボランティアスタッフが説明するゲームをすべてクリアして完了という施設全体を使ったチャレンジゲームです。課題は全部で9つ。

箱のなかみあてゲーム、クイズから類推した文字あてゲーム、丸太乗りバランスゲーム、木のみの皿移しゲーム、靴飛ばしゲーム、小さい秋探しゲーム（ゴールするまでに所内で秋らしいものを見つけるゲーム）、おっけー木の実投げゲーム（松ぼっくりを一人一個ずつ班で投げ6つの風呂桶に入れるゲーム）、カメラマン探しゲーム（施設内にカメラマンにふんしたボランティアスタッフを見つけ班単位で写真を撮ってもらうゲーム）、すもう対決（力士にふんした所員を円の外に押し出すゲーム）以上9つを楽しく回り班の絆を深めました。

その後クラフト棟にて、どんぐりを使ったキーホルダーづくりをして、思い出をいっそう深めました。各自が色を塗った後、ヒートンをつけニスを塗り、ストラップをつけて完成です。

最後におやつ。ほくほくに炊き上がった焼き芋を口いっぱい頬張り、思わずにんまり。楽しい1日を過ごすことができました。

班のメンバーとのお別れを名残惜しむ姿や保護者の方に思い出をうれしそうに話している姿が印象に残りました。

<<17日の様子>>

穏やかな晴天のもと、男子11名、女子10名の計21名が、荒神山自然の家に集まり、キッズ荒神っ子

クラブに参加してくれました。活動のワンショットを撮影しました。

班の自己紹介・全体レク



野外炊事



わんぱくランキング



どんぐりキーホルダー



<< 24日の様子 >>

当初は雨予報で心配していましたが当日は、見事に穏やかな晴天のもと、男子12名、女子10名の計22名が、荒神山自然の家に集まり、キッズ荒神っ子クラブに参加してくれました。活動のワンショットを撮影しました。

班の自己紹介・全体レク



野外炊事



わんぱくランキング



2日にわたり大きな事故等なく盛況のうちに終わられましたことを、この場をおかりしてお礼を申し上げます。

また、先立つこと1週間前。スタッフ事前研修会では、わんぱくランキングについての持ち方や内容の吟味。野外炊事の流れなどを検証して今回を迎えました。活動支援スタッフの地道な活動があってこそ今回の事業が成立しています。改めて支援スタッフの皆さんにお礼を申し上げます。「ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。」